

令和四年十二月鹿ノ台川柳教室 優秀句

お題「ゆらゆら」互選 数字は票数

3 ゆらゆらと自信崩れる発表会
3 メルヘンの森ヘスマホは持たず行く
4 湯煙がビーンナス像を見せ惜しむ
4 足ふらふら記憶ゆらゆらクラス会
4 淡い記憶一つ二つと消えてゆく
4 適当に揺れて舟こぐバスの旅
4 バランスの極意を垂れるヤジロベエ
5 ゆらゆらと煙見つめる通夜の席
5 進む道これでいいのだ過去は過去
5 ミサイルの合い間ゆうゆう渡り鳥
5 決断がついたか振り子動き出す
6 ゆらぐ心どちらにしても残る悔い
9 秀 支持率の波にゆらゆら岸田丸

お題「奈良」(連記) 伊藤基弘選

春日大社ひとり歩きで素に戻る
有難や奈良の大仏お膝元
外国語忘れそうです古都の鹿
大仏がすつくと立って東大寺
観光大使鹿にあげたい感謝状
奈良京都さっぱり知らぬ歴史オンチ
鹿の群れ後ろについて無事横断
大仏が県民気質基礎作り
キャンパスに鹿の来ている奈良の景
鹿の吐く息まで白き古都の朝
神の鹿我弁当を横取りす
顔なげる風も太古の大らかさ
大仏と鹿におんぶと抱っこされ
京雅神戸モダンで奈良のたり
鹿寄せのホルンへ走る白息
天平の夢を見て来た朱雀門
コンサート奈良大好きと歌手が言い
秀 古都ゆえにすべての寺社にある重み
軸 鹿の糞土産に渡し驚かれ

お題「大将」五十嵐千楽選

今日だけは裸の大將服はおる
大將がお代わり叫ぶ縄のれん
ガキ大將やさしい心とつてある
大將といえども怖い注射針
貴方大將家来になってついて行く

健一
義雄
義雄
乃り子
充

よう子
広子
基弘
えいじ
千楽
よう子
きよな
アキラ

えいじ
仁史
アキラ
正清
乃り子
千楽
健一
充

郁子
ちさと
ひよこ
哲子
義雄
広子
よう子
登美
ミチ
きよな
基弘

乃り子
義雄
哲子
よう子
きよな

嫌な役煽て持ち上げ大將に

いつだってオレが大將胸のうち
大將が内弁慶で戦なし
大將と呼ばれてみたい団子虫
食卓の大將サンマ幅効かす
どんじりに控えライバルびくつかす
大將になって孤独の味を知る
今の世はトップにならぬ道に行く
秀 大將はポケットに夢ふたつみつ
軸 弱きを助けイジメなしガキ大將

お題「忘れる」(共選) 森里えいじ選

忘却は神に貰ったクリアキー
十二月期限切れかけ総ざらえ
許し合う心忘れてすき間かせ
国民はすぐ忘れると見くびられ
瞬間に認知が芽ぶくもの忘れ
塩忘れあなたのためと見栄を張り
傘カバン手から離せば雲がくれ
思い出は忘れた年を引き寄せる
根に持つな忘れる事も知恵のうち
外出をすれば施錠が気にかかる
いらん事忘れる術も才のうち
意地悪はされて忘れずして忘れ
記念日を問われて気付く互いの間
パスワード忘れ半日棒に振る
秀 忘れずに忘れた振りをする大人
軸 今ごろ思い出す昔のしくじり

お題「忘れる」(共選) 八木哲子選

根に持つな忘れる事も知恵のうち
足るを知ること忘れずにいて笑顔
塩忘れあなたのためと見栄を張り
いらん事忘れる術も才のうち
十二月期限切れかけ総ざらえ
許し合う心忘れてすき間かせ
人間と男を忘れ無の境地
さりげなく忘れた振りをしてくれる
忘れる力鍛えよう議員さん
生きるため大切なこと忘れてる
昔の事を忘れた振りの都合よさ
忘却は神に貰ったクリアキー
お忘れになつて骨壺すきま風

基弘
広子
ひよこ
広子
登美
よう子
正清
充
乃り子
千楽

義雄
乃り子
よう子
郁子
登美
健一
きよな
哲子
基弘
アキラ
広子
アキラ
充
健一
義雄
えいじ

基弘
郁子
健一
広子
乃り子
よう子
正清
よう子
千楽
えいじ
きよな
義雄
ちさと

何時までも引きずる恋の忘れもの
秀 国民はすぐ忘れると見くびられ
軸 思い出は忘れた年を引き寄せる
基 弘
郁 子
哲 子

自由吟 自選

ロスタイム全て受け入れ前を向く
物価高さてどうするかお年玉
防衛費世界三位をめざす国
国民を守る抑止と言われても
段差あり手を貸そうかと思案する
少しだけ優しくなれば楽になる
強がってみても心は涙色
長生きも生き方次第苦か幸か
カタールで日本沸かせた一ミリ半
赤い糸探し続けて六十年
分度器に未来の糧をきいてみる
邪がいまだはびこり灰となる
走りブラボー蹴り二流オールジャパン
空高く飛べブランコよ若者よ
母おくり実家への灯遠くなる
喪中ハガキ心にひびくボディブロー
それなりに写る写真の残酷さ
目的の違う五輪の金ねらい
綱渡りで句会できてる感謝する
賀状やめ終活ノート満を持す
コロナ禍で友と会えない淋しさよ
最近サンデー毎日ゴロゴロと
山茶花は今を生きてる笑ってる
青空が日延べにしている大掃除
精米を終えて坂道汗の道
孫いれば行くんだろうなトイザラス
決心がかくれてすぐに出てこない
ささくれに冬がひそかにご参集
配信で次から次と意志弱く
履歴からおすすめされるコンピューター
リニア奈良開通までは生きてやる
お歳暮を自分の好み押し付けて
休刊日郵便受けに足が行く
金額の数だけ合わす領収書
悩むより仲良くせいと主治医から
のりきった命の先の青い空
食べ過ぎよ米寿の席で叱られる
もう本も読めない母にせめて灯を
アキラ
郁 子
きよな
健 一
ちさと
千 楽
哲 子
登 美
乃り子
仁 史
広 子
ひよこ
正 清
ミ チ
充
基 弘
よう子
義 雄

☆推薦十句 田中 薫選 *句会結果掲載順
キャンパスに鹿の来ている奈良の景 郁 子
食卓の大将サンマ幅効かす 登 美
忘却は神に貰ったクリアキー 義 雄
意地悪はされて忘れずして忘れ アキラ
記念日を問われて気付く互いの間 充
さりげなく忘れた振りをしてくれる よう子
何時までも引きずる恋の忘れもの 基 弘
少しだけ優しくなれば楽になる えいじ
決心がかくれてすぐに出てこない 正 清
もう本も読めない母にせめて灯を 義 雄
「評」奈良という題は面白いですね。作品は奈良
市内にとどまってしまった感があります。奈良県
の特徴、文化全般に広がりを持った想像をすると
類想から解き放たれるでしょう。題に対して自分
のオリジナリティーを生かして想像の翼をはば
たかせましょう。 田中 薫

*互選は省かれています

一月句会 一月十六日(月) いきいきホール2階
十三時開場 十三時十分投句
「やっぱり」(互選) 「まごころ」(連記) きよな
「音」広子 「恨む」(共選) 充 えいじ
自由吟(自選) 各二句「義雄さんへ」自選一句
*自由吟、「義雄さんへ」、は句箋に記名のこと

*「義雄さんへ」自選一句は希望者だけです。

会員募集中 入会金不要 会費月百円
第三月曜日十三時から十五時
いきいきホールで例会 ご見学大歓迎

お問合わせ お気軽にどうぞ
原 広子 79 0061
野々村アキラ 09069611292